

SRX 800 シリーズ



取扱説明書

Version 1.0



目次

| はじめに | 3 |
|---------------------------|---|
| SRX Connect アプリケーションの実行環境 | 3 |
| ダウンロードとインストール | 3 |
| 端末との接続 | 3 |
| HiQnet アドレスの確認と変更方法 | 8 |
| 音響システム構築手順 | 9 |

はじめに

SRX Connect は SRX800 シリーズ・スピーカーをタブレット端末からコントロールする アプリケーションソフトウェアです。音量、コンプレッサー、ディレイ、パラメトリッ ク EQ 信号処理や、ミュート、シグナル・ジェネレーターなどを端末からワイヤレスで、 コントロールできます。複数のスピーカーをネットワークに接続してシステム全体のコント ロールや監視を行うことも可能です。設定した値はプリセットとしてスピーカー内部に保存、 呼び出しができます。

SRX Connect アプリケーションの実行環境

iPad:iOS7.0以降 Android端末:Android OS 2.3以降

ダウンロードとインストール

iPad を使用する場合はApp Store、Android 端末を使用する場合はGoogle play にアクセスし、 「SRX Connect」と検索します。検索結果に表示された SRX Connect をダウンロードしてから インストールしてください。



端末との接続

以下、iPad と SRX800 の接続手順です。

1. 無線 LAN ルーターの LAN 端子と SRX800 シリーズ・スピーカーの NETWORK 端子を イーサネット・ケーブルで接続します。

注意

- 1 台の端末で複数の SRX800 を操作したい場合は、操作したい全ての SRX800 を同じ 無線 LAN ルーターに接続してください。
- 外部からのネットワークへの侵入を防止するために、無線 LAN ルーターのセキュリティー 機能を有効にすることをお勧めします。

3

2. 端末と SRX800 の IP アドレスを設定します。DHCP による自動設定、または固定 IP アドレスを手動で設定します。通常は設定が簡単な DHCP を使用します。

DHCP/オート IP 機能を利用して自動で設定する方法

- 1. SRX800のDHCP/オート機能をONにします。
- 2. 1台の端末で複数の SRX800 を操作したい場合は、全ての SRX800 の HiQnet アドレスを 異なる値にします。SRX Connect の HiQnet アドレスとも重複しないようにしてください。

注意

SRX Connect の HiQnet アドレスは変更できません。重複している場合、SRX800 側の HiQnet アドレスを変更してください。SRX Connect の HiQnet アドレスは、アプリケーション 画面右上の
な
を
タッチして確認できます。

| 股定 Q. 認定 | | | Wi-Fi | |
|--------------------|--------------|------------|------------------------------------|--|
| | | _ | | |
| | | | Wi-Fi | |
| 188 | 内モード | \bigcirc | 位置情報サービスを使用するにはWi-Fiをオンにする必要があります。 | |
| 🗟 Wi | | オフ | | |
| 🕴 Blu | uetooth | オン | | |
| | | | | |
| B B | 知 | | | |
| 8 -: | ントロールセンター | | | |
| C 5' | やすみモード | | | |
| | | | | |
| | RC | | | |
| AA DI | 面表示と明るさ | | | |
| | 紙 | | | |
| • | ウンド | | | |
| 🛐 То | uch IDとパスコード | | | |
| D 15 | ッテリー | | | |
| | | | | |

3. iPadのWiFiをONにします。

4. iPad に認識されたネットワークが表示されます。その中で SRX800 が接続している WiFi ルーターを選択します。

| 設定 | | | Wi-Fi | | |
|-------|----------------|----------------|---|------------------|--|
| Q. 80 | | | | | |
| | | | Wi-Fi | | |
| ≻ | 機内モード | \bigcirc | ✓ aterm-18d306-g | ∎ ♥ (j) | |
| • | Wi-Fi | aterm-18d306-g | ネットワークを選択 💬 | | |
| * | Bluetooth | オン | aterm-18d306-gw | • ♦ () | |
| | | | elecom2g_b2f | • ♥ () | |
| | 200940 | | その他 | | |
| 8 | コントロールセンター | | | | |
| C | おやすみモード | | 接続を確認 | \bigcirc | |
| | | | 接続したことのあるネットワークに自動的に接続します。接続した わい思会は、50%マネットワークを開始するご思想をします。 | ことのあるネットワークが見つから | |
| Θ | 一般 | | WV-80184 780 (TYP) / / C1824 7 MD18 (P0 2003) | | |
| AA | 面面表示と明るさ | | | | |
| * | 望紙 | | | | |
| 41) | サウンド | | | | |
| 8 | Touch IDとパスコード | | | | |
| | パッテリー | | | | |
| - | | | | | |

5. iPad のネットワーク情報を表示させ、IP アドレスの設定方法を DHCP にします。IP アドレス、サブネットマスク、ルーター、DNS が自動で設定されます。

| 設定 | < WI-FI | aterm-18d306-g | |
|---------------------------------------|-------------------|----------------|----------------|
| Q. 202 |] | | |
| | このネットワーク設定を | 削除 | |
| ▶ 機内モード | 107 FL 3 | | |
| 😨 Wi-Fi aterm-18d306-g | DHCP | BootP | 1019 |
| Bluetooth オン | IPアドレス | | 192.168.10.100 |
| (D) | サブネットマスク | | 255.255.255.0 |
| | ルーター | | 192.168.10.1 |
| 3 コントロールセンター | DNS | | 192.168.10.1 |
| ▶ おやすみモード | 協会にメイン | | |
| | (2米FA12 | | |
| (2) −#2 | クライアントロ | | |
| AA 画面表示と明るさ | | | |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | DHCP リースを更新 | | |
| サウンド | HTTPプロキシ | | |
| 💿 Touch IDとパスコード | 77 | 手動 | 自動 |
| こ パッテリー | | | |
| - | | | |

固定 IP アドレスを利用して手動で設定する方法

- 1. SRX800 の DHCP/オート機能を OFF にします。
- SRX800のIPアドレスを変更します。複数のSRX800を接続する場合は、最後の桁のみ 異なる値にします。例えば2台接続する場合、1台目のIPアドレスが「190.168.100.100」 なら、2台目は「190.168.100.101」と入力してください。サブネットマスクはそのまま 「255.255.255.0」を使用します。

| 設定 | Wi-Fi |
|----------------------|------------------------------------|
| Q. 1822 | |
| | Wi-Fi |
| ▶ 機内モード | 位置情報サービスを使用するにはWi-Fiをオンにする必要があります。 |
| 🗢 Wi-Fi オフ | |
| Bluetooth オン | |
| | |
| 通知 | |
| 🕄 コントロールセンター | |
| こ おやすみモード | |
| | |
| (b) − _{fk} | |
| AA 面面表示と明るさ | |
| 2216 | |
| サウンド | |
| Touch IDとパスコード | |
| - パッテリー | |
| - | |

3. iPad が認識したネットワークが表示されます。その中で SRX800 が接続している WiFi ルーターを選択します。

| 設定 | | | Wi∗Fi | | |
|----------|----------------|----------------|--|---------------|--|
| Q. (2).2 | | | | | |
| | | | Wi-Fi | | |
| ≁ | 機内モード | \bigcirc | ✓ aterm-18d306-g | ê ≑ (j) | |
| ~ | Wi-Fi | aterm-18d306-g | ネットワークを選択 $\hat{s}_{q^2}^{(i)}$ | | |
| * | Bluetooth | オン | aterm-18d308-gw | ∎ 🗢 (i) | |
| | | | elecom2g_b2f | . ♥ ① | |
| C | 通知 | | その他 | | |
| 8 | コントロールセンター | | | | |
| C | おやすみモード | | 接続を確認 | \bigcirc | |
| | | | 接続したことのあるネットワークに自動的に接続します。接触したことの# たいほかは、正動でネットワークを開始するご美があります。 | ちるネットワークが見つから | |
| 0 | 一般 | | | | |
| ٨A | 画面表示と明るさ | | | | |
| * | 建紙 | | | | |
| 410 | サウンド | | | | |
| 6 | Touch IDとパスコード | | | | |
| | パッテリー | | | | |
| - | | | | | |

 ネットワーク情報を表示させ、IP アドレスの設定方法を DHCP にします。IP アドレス、 ルーターと DNS の値をメモします。最後に IP アドレスの設定方法を「静的」に 切り替えてください。

| | 設定 | | 🗸 Wi-Fi | aterm-18d306 | -g |
|----------|----------------|----------------|-------------|--------------|----------------|
| | Q, 設定 | | | | |
| | | | このネットワー | ク設定を削除 | |
| ≻ | 機内モード | \bigcirc | IPアドレス | | |
| ? | Wi-Fi | aterm-18d306-g | DHCP | BootP | 1989 |
| * | Bluetooth | オン | IPアドレス | | 192.168.10.100 |
| _ | | | サブネットマス | 5 | 255.255.255.0 |
| | 通知 | | ルーター | | 192.168.10.1 |
| 8 | コントロールセンター | | DNS | | 102 189 10 1 |
| C | おやすみモード | | | | 192.100.10.1 |
| | | | 検索ドメイン | | |
| 0 | 一般 | | クライアントID | • | |
| ٨A | 画面表示と明るさ | | | | |
| * | 壁紙 | | DHCP リースを更新 | | |
| - | サウンド | | HTTPプロキシ | | |
| | Touch IDとパスコード | | #2 | 于勒 | 810 |
| | パッテリー | | | | |
| - | | | | | |

IP アドレス、サブネットマスク、ルーター、DNS を以下のように設定します。
 IP アドレス:ネットワーク管理者から与えられた IP アドレスを設定します。
 サブネットマスク:ネットワーク管理者から与えられたサブネットマスクを設定します。
 ルーター:4.でメモしたルーターの値を入力します。
 DNS:4.でメモした DNS の値を入力します。

1 台の iPad で複数の SRX800 を操作したい場合、操作したい全ての SRX800 の HiQnet アドレスを異なる値にします。SRX Connect の HiQnet アドレスも重複しないようにして ください。SRX800 の HiQnet アドレスは初期設定では同じ値になっています。

HiQnet アドレスの確認と変更方法

SRX Connect を立ち上げる前に、SRX800の HiQnet アドレスを確認します。

- スピーカーのリアパネルから「MASTER ENCODER」ボタンを押して NETWORK MENU を表示させます。
- 2. HiQnet アドレスを確認します。
- 3. 「MASTER ENCODER」ボタンを回してアドレスを変更します。
- 4. 「MASTER ENCODER」ボタンを押して確定します。
- 5. ネットワークに接続している全てのスピーカーの HiQnet アドレスが異なることを 確認します。

SRX Connect アプリケーションを立ち上げて、全てのスピーカーが画面に表示されることを 確認します。

音響システム構築手順



SHOW

スピーカーをグループに追加して構築したシステムを「SHOW」と呼びます。SHOW の 名前は画面トップに表示されます。上図では UNTITLED になっています。

Device Window :

ネットワークに接続されているスピーカーが表示されます。

Main Window :

スピーカーグループのテンプレートが表示されます。ここに、Device Window 内のスピ ーカーをドラッグ&ドロップしてスピーカー・グループを作成します。

9

- CREATE SYSTEM をタッチして SRX Connect アプリケーションと SRX800 を オフラインにします。
- 2. Device Window に表示されているスピーカーをタッチして Main Window ドロップします。

接続したスピーカーの確認

SRX Connect アプリケーションに表示されているスピーカーを選択すると、そのスピーカーの リアパネルにある LCD ディスプレイ表示が点滅します。

この機能は選択したスピーカーを長押しすることにより無効にすることができます。画面下の AUTOLOCATE が OFF になります。



DEVICE WINDOS のスピーカー編集

DEVICE WINDOW にあるスピーカーを長押しすると、編集メニューが表示されます。



RENAME

スピーカーの名前を変更することができます。

DELETE

グループに追加されたスピーカーを消去して DEVICE WINDOW に戻します。

4. TUNE SYSTEM をタッチして SRX Connect アプリケーションと SRX800 をオンライン にします。使用しているシステム以外のテンプレートは非表示になります。



5. 画面右側にチャンネル信号調整スライダーなどが表示されます。入力レベル、EQ、 コンプレッション、シグナル・ジェネレーターなどをコントロールすることができます。

Doc.#: SHD681-A

✿ (画面右上 OPTION)を使用して「左右のスピーカーをリンク」を有効に設定にする と、スピーカーを左右どちらか一方に追加したとき、もう一方に同じスピーカーが 追加されます。

注意

MONITOR グループに追加できるのは 812P、815P だけです。

LEFT SUBS と RIGHT SUBS に追加できるのはサブウーファーだけです。 サブウーファーは LEFT FILS、RIGHT FILS、REAR FILLS に追加できません。



「ON」(ミュート)ボタン

スピーカー、またはスピーカー・グループをミュート、アンミュートすることができます。

MUTE ALL

MUTE ALL ボタンを押すとウィンドウが開いてミュートを選択することができます。

MUTE ALL DRIVERS

全部のスピーカーをミュートします。

MUTE ALL DRIVERS EXCEPT MONITORS

モニター以外のスピーカーをミュートします。

SOLO

SOLO に設定しているスピーカーを除いてスピーカー・グループをミュートすることが できます。 同じグループのスピーカーは同じ20バンドEQ、コンプレッサー、ディレイ、シグナル・ ジェネレーターを搭載していて、これらは自動的に同期されます。



SHOW の名前を変更

Dome UNTITLED faß. СК Dancel E R T Y U 1 0 Р 🗵 Q W ASDFGHJKL ZXCVBNM! ? LIND LING AND MATCH Crical .?123 .?123 🕥 🖉

画面トップの SAVE SHOW の名前を押します。

プリセット

スピーカーをグループに追加すると、そのプリセットもロードされます。クロスオーバー・ ポイントとチューニングはプリセットに従って設定されます。サブウーファーを使用 していない場合、プリセットの「SRX Top」を「Main」に変更します。

RUN SHOW(オンラインで音響システムを操作)

全ての設定が完了したら RUN SHOW をタッチして開始します。このモードでは呼び出した プリセットは変更できません。さらに、開始時に全てのフェーダーと EQ/Compressor コントロールは最低レベルに設定されます。MUTE ALL ボタンは有効になっています。



OPTION



✿ (画面右上 OPTION)を使用して「左右のスピーカーをリンク」を有効に設定すると、 スピーカーを左右どちらか一方に追加したとき、もう一方に同じスピーカーが追加 されます。

DSP パラメーターは自動的にもう一方にコピーされます。

リンクオプション

次のスピーカー・リンクを作ることができます。

- Left Main / Right Main
- Left Subs / Right Subs
- Left Fills / Right Fills



※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。 また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。